

| | | | |
|-----|----------------|------|---------------------------|
| 科目名 | 内部障害理学療法学演習 II | 担当教員 | 信太雅洋※ ※印は実務経験のある教員を示す。 |
|-----|----------------|------|---------------------------|

| 開講専攻 | 分野 | 種別 | 配当年次 | 開講時期 | 単位数 | 授業形態 |
|--------|------|----|------|------|-----|------|
| 理学療法専攻 | 専門分野 | 選択 | 3年次 | 後期 | 1単位 | 演習 |

| | |
|------|---|
| 科目概要 | 「内部障害理学療法学」の内容を踏まえ、虚血性心疾患や心不全を中心とした心臓リハビリテーションにおける評価、問題点の抽出、具体的な治療について学習する。とくに全身状態の把握の仕方、リスク管理と運動処方について理解を深め、安全かつ効果的な運動処方を行うことができる能力を身につける。 |
| 学習目標 | 内部障害理学療法を行う上で、病態把握の方法について理解し、運動処方を立案し、実施する際のリスク管理について説明できること。 |

| 回 | 項目 | 主な学習内容 | 到達目標 | 実務経験 教員担当 項目 |
|----|-----------|--------------------|---|--------------------|
| 1 | 心臓リハ各論 1 | 心臓疾患の評価（心電図を含む） 1 | 心臓の評価として、正常心電図から異常心電図について演習して理解する。 | 信太 |
| 2 | 心臓リハ各論 2 | 心臓疾患の評価（心電図を含む） 2 | 心臓の評価として、正常心電図から異常心電図について演習して理解する。 | 信太 |
| 3 | 心臓リハ各論 3 | 心臓リハ（心筋梗塞急性期のリハ） 1 | 心筋梗塞急性期のリハビリテーションと理学療法士の役割について理解する。 | 信太 |
| 4 | 心臓リハ各論 4 | 心臓リハ（心筋梗塞急性期のリハ） 1 | 心筋梗塞急性期のリハビリテーションと理学療法士の役割について理解する。 | 信太 |
| 5 | 心臓リハ各論 5 | 心臓リハ（心筋梗塞急性期リハ） 2 | 合併症（心不全・狭心症・不整脈）に対する理学療法を理解する。 | 信太 |
| 6 | 心臓リハ各論 6 | 心臓リハ（回復期・維持期のリハ） | 心筋梗塞回復期・維持期のリハビリテーションと理学療法士の役割について理解する。 | 信太 |
| 7 | 心臓リハ各論 7 | 心肺運動負荷試験の体験 1 | 心臓リハ評価の代表的な心肺運動負荷試験を体験して運動処方に活かすことができる。 | 信太 |
| 8 | 心臓リハ各論 8 | 心肺運動負荷試験の体験 2 | 心臓リハ評価の代表的な心肺運動負荷試験を体験して運動処方に活かすことができる。 | 信太 |
| 9 | 心臓リハ各論 9 | 心臓リハ（事例検討） | グループで病態を把握・整理する。 | 信太 |
| 10 | 心臓リハ各論 10 | 心臓リハ（事例検討） | グループで運動処方（プログラム）立案する。 | 信太 |
| 11 | 心臓リハ各論 11 | 末梢循環器リハ | 閉塞性脳脈硬化症やバージャー病などの動脈系・深部静脈血栓症などの静脈系末梢循環障害の理学療法について理解する。 | 信太 |
| 12 | 心臓リハ各論 12 | 末梢循環器リハ | 閉塞性脳脈硬化症やバージャー病などの動脈系・深部静脈血栓症などの静脈系末梢循環障害の理学療法について理解する。 | 信太 |
| 13 | 心臓リハ各論 13 | 心臓リハビリの実際 | 心臓リハビリの実際について理解する。 | 信太 |
| 14 | 心臓リハ各論 14 | 心臓リハビリの実際 | 心臓リハビリの実際について理解する。 | 信太 |
| 15 | 腎臓リハ各論 | 腎不全（血液透析含む）のリハ | 腎不全の病態を理解して、運動療法プログラムを立案する。 | 信太 |

| | |
|---------------------|---|
| 評価方法 | 筆記試験 50%、レポートまたは小テスト 50% |
| 教科図書 | 細田多穂監修『内部障害理学療法学テキスト、改訂第2版』南江堂、2012年 『心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2012年改訂版)JCS2012』 |
| 参考図書 | 高橋哲也編著『呼吸・心臓リハビリテーション：カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ』羊土社、2015年 日本腎臓リハビリテーション学会『腎臓リハビリテーションガイドライン』南江堂、2018年 古川順光『内部障害に対する運動療法-基礎から臨床実践まで-』メジカルビュー社、2018年 |
| 学習の準備 | 人体構造機能学Ⅰ(内蔵脈管系)の心血管・呼吸器・腎臓をしっかりと復習して授業に望むこと。 |
| オフィスアワー | 在籍時はいつでも可能 |
| 担当教員欄に※印を附した教員の実務経験 | 信太雅洋は、民間病院で内臓疾患における理学療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。 |